

市交際費の支出状況



令和4年1月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔慰	今月分	1	30,000
	累計	53	191,000
見舞い	今月分	0	0
	累計	0	0
御祝	今月分	0	0
	累計	4	22,480
賛助	今月分	0	0
	累計	0	0
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接遇	今月分	0	0
	累計	35	78,860
会費	今月分	1	2,000
	累計	6	24,000
その他	今月分	0	0
	累計	0	0
合計	今月分	2	32,000
	累計	98	316,340

※くわしくは市ホームページに掲載しています

問い合わせ 総務課 秘書係  
☎75-2115

連載

「子どももひとりの人間です」

久しぶりの外食でした。席が空き、店内に案内されると、ちょうどトイレから2歳くらいの子どもを抱っこした女性が出てきました。母親かなと思った瞬間、その女性は思いつきり子どもの頭を叩いたのです。びつくりする程強い力だったので、私は目の前の出来事に鼓動が鳴りつばなしました。公共の場であんなに激しい叩き方をしているのだから、家ではどうしているのだろうと心配になりました。

子どもが言うことを聞いてくれない、イライラして、つい叩いたり怒鳴ったりしてしまうことがあるかもしれません。しかし、しつけのためにしたことでも、子どもの身体に何らかの苦痛や不快感を引き起こす行為は、どんなに軽いものであろうと体罰

tomoni ikiru

に該当します。子どもには「生きる」「育つ」「守られる」「参加する」権利があるのです。

どんなに頑張っても親の思い通りにならないのが子育てです。もし、不安になったり、つらいと感じたりした時には、ひとりで抱え込まずに誰かに相談してみませんか。さまざまな相談機関やサービスもあります。市内では市役所や児童センター内の子育て支援センターなどで相談が可能です。

勇気をもってSOSを出せば、周りの人たちが気づき、サポートしてくれたり、必要な支援やサービスなどを受けたりすることができます。

子どもの笑顔や人権を守るためにも、ひとりで抱え込まず、周囲の力を借りながら、子育てをしていきましょう。

社会教育指導員 野中久美子

Message for citizen



市長コラム



希望をもってジャンプしてほしい卒業シーズンですが、コロナ禍で難しい日が続きます。

オミクロン株の強い感染力が猛威を振るっています。市内も2月16日に11人感染で最多更新。県内も2日連続492人感染。厳しい状況が続くため、1月27日からだった佐賀県のまん延防止等措置は3月6日まで2週間延長されました。

東京では9日間連続で前週の数値から減少とはいえ1万7千人台となり、17日までにオミクロン新変異種B.A.2が7件確認され要注意の状況です。

コロナ対策の要は、ワクチン接種と感染予防徹底です。ワクチンの3回目接種で多都市は2月7日時点で全国815市区で全国2位の接種率で順調に進捗しています。

感染予防で重要なのは「自分も感染している」とみなして、注意して行動することです。

「自分からの感染拡大ゼロ」をめざそう

市長 横尾俊彦

2月17日記

オミクロン株感染は感染2日目に症状が出て、感染拡大状態になります。無症状傾向のため、本人もそばの人も気づかず意識せず、感染拡大します。

マスク着用と手指消毒でリスクは減少します。着用せず長時間飲食や、身体的距離をとれない場面だとリスクは上昇。トイレのドアノブも要注意です。ドア開閉後に完全消毒でないと感染リスクが潜みます。

事程左様に意識しない場面でも感染拡大します。これを断ち、感染を抑えるには「自分も感染している可能性があり、他者に広げることもありうる」という細心の注意と行動が不可欠です。感染例でも「マスクはずして長時間会食」「マスク着用せずスポーツ作戦会議」などあり、ついうっかりの瞬間に感染拡大しています。完璧ゼロは無理でも「自分からの感染拡大ゼロ」が肝心。日々の徹底をお願いします。